

九州ネット

12月12日

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

大分県開催<とり天ラウンド>

H27.12.12(Sat)

コンパルホール大分

九州ネットワーク研究会「とり天ラウンド」が、広島県、福岡県、佐賀県、鹿児島県、大分県内からの参加者合計28名により開催されました。ICTを活用した体育の授業づくりについての報告や協議が行われ、まさにとり天のような、アツアツ、ホクホクの会になりました。



1. トピックス 「これから求められる資質・能力とICT活用」 鹿屋体育大学 佐藤豊教授

体育における能力育成モデルについて、知識を中心とした他教科との違いを説明していただきました。キー・コンピテンシーで示される資質・能力は、体育では、結果として付いてくるイメージであること、3観点のバランスを考えた育成が大事であることなどの話がありました。タブレット型端末の使用がICTの活用置き換わっていないか、など、協議に向けての投げかけがありました。

2. 実践報告 「小学校体育専科教員・中学校体力向上推進校の取組発表（ICTの活用）」



①日田市立三和小学校 岩崎敬教諭

背泳ぎの動きのポイントを映像で示した事例、反復横とびの指導前と指導後を比べた映像、音楽を使い子どもを主人公にした学びの振り返り映像の紹介などがありました。

②日出町立日出中学校 阿部尚史教諭

器具を使った運動の方法を拡大して体育館に掲示しておく、子どもがインターネットで調べた他の使い方を紹介しバリエーションが増えたなどの事例が発表されました。



③大分県教育庁体育保健課 後藤真一郎指導主事

バスケットボールで、映像を基に自他の動きの改善点を探り練習し、意図的な攻撃ができた時には、書き込みソフトを使い、要因を実施者が全員に解説するという実践例の発表がありました。

3. 協議 「ICTの可能性と課題」

6班で協議を行いました。撮った画像や映像は、課題作り、自己診断、ふり返し、評価などの場面で客観的に姿を見ることができ有効である。ポートフォリオ的な使い方、反転学習モデル授業での活用などの可能性がある。ハード面の環境整備やメンテナンス、教員のスキルなどの課題があるが、活用の可能性を今後も検証していきたいなどの発表がありました。



4. まとめ 鹿屋体育大学 佐藤豊教授

「3人の実践は、ICTをどう使うかが目的でなく、授業をどう良くしていくかという視点での活用でした。ICTを活用して腑に落ちる授業をどうつくるかが大切です。」とのまとめがありました。

5. 情報交換会 (夜のとり天ラウンド)

大荒れの天候を乗り越えてご来県くださった岩手大学の清水先生が加わり、昼にも増して熱く語り合いました。各地で体育の振興に向けて頑張ることと再会を誓い、とり天ラウンドを閉じました。昼の会、夜の会それぞれに御参加いただいた皆様、ありがとうございました。